



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー 2023-2024 年度 前橋北ロータリークラブ会報

2024年3月18日（月）第1824回

会長 廣木晴久 幹事 上村哲郎

会場監督担当 関口委員



◇ロータリーソング それでこそロータリー

◇会員数80名 ◇出席 82.08%

◇ニコニコBOX

斎藤慎佳会員、吉田貴行会員、田中伸志会員

◇幹事報告 上村幹事

◇会長の時間 「趣味」

◇委員会報告

親睦委員会 田中委員長
職業奉仕委員会 塚越委員長
野球部 亦野会員

私の趣味についてお話をしたいと思います。私はオートバイが大好きでバイクは750ライダーという漫画 CB750F に憧れて、それに学生服を着て乗りたいという希望でした。私が学生の時は群馬県内において「3 無い運動」というのがあり本来、免許はとってはいけませんでした。17歳の時に原付免許を取得しました。初めてのバイクはホンダのMT50。ちょっと大きめのオフロードバイクを買いました。

高校2年の夏休みに友人3人で、原付で軽井沢までツーリングしていました。途中の碓井バイパス登りでバイクの調子悪くなってエンジンが止まってしまい、友人は先に行ってしまいました。下り坂で押し掛けしてもエンジン掛からず、そのまま押して歩いていると、その時にたまたまバイクを売ってくれた友人が後ろから来ました。その友人はどうしたのかと理由を聞くと「じゃあね、バイバイ」と行ってしまいました。そこから、機部あたりのバイク屋まで歩いて行って、エンジンの焼き付きによる故障で修理にだしまして、そのあと一人寂しく電車で前橋まで帰ってきました。

翌年、中型免許取得して友人からホンダホークⅢを売ってもらう予定でしたが友人が事故を起こし、あえなくバイクは廃車になりました。高3の6月にパチンコ屋のオープンに行こうと思って、友達の80CCのバイクを二人乗りで運転していく途中、車の左折巻き込み事故で私は電柱に頭からぶつかり一か月くらい入院しました。入院した病院は競輪選手も入院する病院だったので、同室の大人と夜な夜な病院を抜け出し、夜遊びを覚えました。そのあとスズキGS400、2気筒のバイクで改造車、直管を親に内緒で譲り受けました。赤城山に走りに行っていたが、車検が切れ、高校生だったため金欠で車検受けられずそのまま友達の家のガレージに放置、いつの間にかなくなりました。

高校卒業後、東京にいき、知り合った友人からヤマハRZ350を買いました。ある日、夏にみんなで海に行くことになり、海水浴パンツを買いに行くためバイクで買い物行こうと出発した一つ目の信号を右折しようとして転倒、真夏で軽装のため腕と足を擦過傷で結局、海へは行けましたが、入れず寂しい思いをしました。バイクは友人に売却しました。

そのあと、22歳の時にRZR250でバイトが終わり、夜風が気持ちよかったので赤城山に走りに行く途中、私の過失ではなかったのですが、信号無視の自転車と接触事故を起し大破しました。

次にNSR50という50CCのバイクを買いサーキット使用に改造してミニバイクレース参戦しました。練習は榛名カートランドで、青木三兄弟は子供なのにとっても速くて全然ついていけませんでした。そのあと西仙台サーキットの耐久レースで後ろから追突され鎖骨骨折となりました。

25歳でRGV250 ャレーサーレプリカを、27歳の時はオフロードバイクのRMX250を買いました。そして玉村の河原でモトクロスごっこをして、ジャンプに失敗しハンドルを胸にぶつけ多分、肋骨骨折しました。3か月くらい痛いのを我慢していました。

結婚を機にバイクに乗らなくなりましたが、50 歳になって自分へのご褒美として大型自動二輪免許を取得しました。ハーレーに乗りたかったのですが先輩に「ハーレーより乗っていて楽しいよ」ということで、2014年にトラベラーのKTM1190ADVENTURERを買いました。その後は色々なバイクに乗りました。バイクは乗るだけでなく自分でカスタムや整備するのも楽しみの一つです。

サーキットは同一方向、ルールで走行なので思いっきり走れるためサーキットでは数多く転倒しました。公道ではルールを守り慎重に走行しているので、RZR250以来、転倒、立ちこけ、事故はありません。

あくまでも個人的な意見ですが、公道では、運転経験に大きな差があるさまざまなドライバーがいて、さまざまな種類や動力性能のクルマが走っている。さらに歩行者、動物、自転車とも混在した環境にある。また、雨、雪、風など自然環境の変化も含めて、ドライバーにとって予測不可能なさまざまなことが起こる可能性が高いと思います。それは、たとえ信号機や交差点がなく、歩行者や自転車とは分離交通となっている高速道路でも同じことだと思います。高速道路の場合、走行速度が上がる分、操作ミスによる事故のリスクも上がる。しっかりとした指導がある状況でサーキット走行をして、高速走行や運転スタイルとしてハードなドライビングがいかに危険で難しいかを体験し、同時に不確定要素が多い公道で速度超過することでの、自分自身、そして他の人たちへの危険が高まることを実感して欲しいと思います

最近、2輪車のサーキットでの中高年者の死亡事故が多く報道されている。2輪はプロテクターやヘルメット、皮ツナギを着用しているが、ほぼ身が露出していて、還暦を超えて体が硬くなった私は、転倒即骨折に繋がりやすいと思います。ツインリンクモテギは来年度からは2輪のサーキットライセンスを持っていると追加で4輪のライセンスも持てるので2輪をやめて4輪でサーキットデビューを果たしたいと思います。

HONDA CB750F (昭和55年)



トラベラーのKTM1190ADVENTURER

